

JF 欧州 6 拠点共催 日本語教育ワークショップ

B2 レベルの日本語教育実践デザイン

—JF 日本語教育スタンダード B2 教材の学習者体験を基に語り合う—

みなさんは中上級レベル以上の授業をどのように実践されていますか。

どのようなチャレンジをし、どのような課題を感じていますか。

B2レベル*の授業では、教材を自作しているという声もよく聞かれますが、自作の教材を作るとき、みなさんはどのように教材を作り、どのように実践をデザインされていますか。

このワークショップでは、JF 日本語教育スタンダードに基づいて開発された B2教材**の学習者体験の機会を持ち、そのうえで B2教材を分析します。また、B2教材開発の理論的背景やプロセスについての紹介を聞き、自分自身の現場に応用するための方法について語り合います。

*B2 レベルについては、こちらの資料をご参照ください。→ [CEFR 共通参照レベル: 全体的な尺度 \(英語版 / 日本語版\)](#)

**JF 日本語教育スタンダード B2 教材については[こちらの記事](#)をご参考ください。

内容: 2 回コースで実施します。

1 回目: JF スタンダード B2 教材の学習者体験とふり取り

2 回目: B2教材開発の理論的背景の紹介と現場への応用案、実践デザインについて意見交換

日時:

① 2022 年 9 月 17 日 (土) 10 時~12 時半 (WEST) / 11 時~13 時半 (CEST)

② 2022 年 9 月 24 日 (土) 10 時~12 時半 (WEST) / 11 時~13 時半 (CEST)

場所: オンライン

使用言語: 日本語

講師: 大船ちさと (国際交流基金ロンドン日本文化センターチーフアドバイザー)

定員: 80 名 (*定員を大幅に超える場合は欧州在住の方を優先)

対象: 欧州在住の日本語教師および日本語教育を専攻している大学院生

(上記の方を主たる対象としていますが、その他の地域の方の参加も可能です)

参加費: 無料

留意事項:

- ・ 国際交流基金が運営する「みんなの教材サイト」への会員登録が必要です。
 - ・ 事前課題があります。事前課題に取り組むことが求められます。
 - ・ 2回連続での受講を基本としますが、やむをえない事情の場合は、いずれか 1 回の受講も可能とします。ただし、1 回目を欠席する場合は、事前課題を必ず実施した上で参加することを条件とします。
- *事前にご連絡いただければ、1 回のみ参加の方には、ご欠席の回の資料等を後日、お送りします。

お申込み: <https://forms.office.com/r/inMPQXxbM6>

申し込み締め切り: 9 月 8 日 (木) 9 時 (WEST) / 10 時 (CEST)



問合先: 国際交流基金ロンドン日本文化センター 日本語チーム events.japanese@jpf.org.uk

共催: 国際交流基金 ブダペスト日本文化センター / ケルン日本文化会館 / ロンドン日本文化センター / マドリード日本文化センター / パリ日本文化会館 / ローマ日本文化会館